

(令和6年9月10日 午前10時55分 開始)

○議員（内藤 逸子議員） 発言通告に基づいて質問いたします。

第1点は、命を守る防災対策について質問いたします。

日向灘を震源に8月8日に発生した地震を受け、気象庁が初の南海トラフ地震臨時情報、巨大地震注意を発表しました。また、今回の台風10号は伊勢湾台風並みの被害が想定されました。行政が住民の安全と健康を守るための手順を示した、時系列の災害対応の手引とも呼べる地域防災計画では、地震、津波、豪雨水害など大規模災害について、川南町での被害想定はどうなっていますか。

この被害想定に基づいて、水、食料、衛生用品など必需物資の備蓄、指定避難所の場所と開設手順、運営などの体制、避難ルートの確立と二次避難の準備などが決められていきます。被害想定が過少で想定を上回る災害が起きれば、食料や避難所等の不足により、町民の命が危険にさらされます。それだけに、どんな内容の避難想定を持っているのか、継続的にチェックする必要があります。

私のこれまでの経験では、川南町は災害が少ない町だと認識しています。だからこそ、想定外の災害が起きることを予想することも、大切な行政としての役割ではないでしょうか。適切な被害想定を持ち、その想定に応じた食料備蓄や避難場所確保等の行き届いた備えを講じていれば、多くの命を救い得る時代になりつつあります。

今回の南海トラフ臨時情報や防災無線での個々人の備えなどは、町民に安心して生活が続けられますよとの心構えが持てるように発信してほしいです。

また、日常的にも避難訓練は計画してほしいのですが、計画はありますか。

2点目、川南原土地改良区用水路の管理について伺います。

早期水稻は収穫も終わりつつあります。この稲作に欠かせないのが水です。用水路の管理について、高齢化が進み管理が大変になっています。昔ながらの用水路のままで、もうできません。豪雨で土砂が詰まって、コリを取り除くのは手作業です。見に来てとのことで行きましたが、年を取って限界ですの声があります。都城市ではパイプラインにしているそうです。川南町でも取り組みませんか。伺います。

3点目、川南町の経済推進についてです。

経済推進会議を設置し、若い人の意見を把握し対策を打ちたいとのことですが、具体的にはどのように行われるのか伺います。

4点目、生理用品設置についてです。

学校トイレの実証実験は終わったと聞きますが、結果はいかがでしたか。問題点はあったのでしょうか。今後は他の市町村と同じように実施されるのでしょうか。実施できない理由があるのでしょうか。

細かい点は質問席から伺います。

○町長（宮崎 吉敏君） 内藤議員の質問にお答えいたします。

土地改良区組合員の高齢化が著しいが把握されているかということに対しては、土地改良区組合員の皆様には日頃から施設の維持管理に御尽力いただき、心より感謝申し上げます。川南町の農業を支えている農業用水路の重要性や、その水路の管理をしていただいている土地改良区組合員皆様の高齢化につきましては、共同作業時の参加人員の減少など、十分理解しています。

以上です。

○総務課長（小嶋 哲也君） まず1点目の、南海トラフが発生した場合の町内の被害をどう想定しているかということでもありますけども、南海トラフ地震の被害想定については、令和5年3月に改定しました町地域防災計画に記載してありますとおり、宮崎県の地震、津波の被害想定から引用しておりまして、家屋全壊2,900棟、半壊2,300棟、死者520人、負傷者770人を想定しています。

2点目の災害時の備蓄品の備えはどうなっているのかということですが、また、家庭での備えについて、町民への広報は行っているのかという点です。

本町では平成29年から令和3年にかけて、各自治公民館に防災備蓄倉庫を設置し、主に食料品関連や生活用品、関連用品を備蓄しております。食料については各地区100人の3日分の食料と水を備蓄している状態です。

町民への広報については、これまで回覧板やホームページで周知しています。さらに、各団体、地区等へ防災講話の際に備蓄の必要性を説明し、各家庭での家族人数分の3日分の食料等の備蓄をお願いしているところです。

参考までですけども、防災備蓄倉庫の設置場所は6か所あります。川南西、山本は2か所、掛迫と細、あと東、通山、多賀、あと今年度、通浜と農村センター横に1基ずつ設置する予定になっております。

最後に、防災訓練の実施は考えているのかということですが、防災訓練については、これまで沿岸地域において津波避難訓練を実施しております。今年度については、町の防災体制及び町民の防災意識向上を図るため、10月6日日曜日です、町の総合防災訓練を計画しております。町職員、自治公民館及び自主防災組織、また、各家庭それぞれの特性に合った訓練を実施していただきたいというふうに考えております。テーマとしましては、「みんなで取り組もう主体的な自助・共助」ということで計画をいたしております。

以上です。

○町長（宮崎 吉敏君） すみません、先ほど答弁の順番を間違えましたので、申し訳ありません。内藤逸子議員の質問にお答えいたします。

経済推進会議は川南町の将来あるべき姿、目標、目指すものなどを協議し、私たちの視点、考えとは違う斬新なアイデアを求めたいと思います。各グループ、各団体から中

堅を担っている方々を選出していただき、会議を構成したいと考えています。また、それぞれが感じている問題点を共有することで有効な手だてがないか、判断してまいります。

以上です。

○教育課長（三好 益夫君） 内藤議員の御質問にお答えいたします。

中学校トイレの生理用品を設置するという実証実験の結果についてでございますが、設置の期間が約1か月で、使用数のほうが唐瀬原中学校で35個、国光原中学校で23個の使用がありました。こちらの想定よりも多い利用があったなというふうに感じているところです。

今回の実証実験について、今後、生徒の皆さんへのアンケートを実施する予定にしております。どのような考えで持って行って使ったのかとか、どういうシチュエーションだったのかとか、そういったことを、細かく把握した上で、養護教員の先生と協議をしながら、今後どのような形で設置をするのかというのをしっかりと議論した上で決めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議員（内藤 逸子議員） 第1点目、命を守る防災対策について伺います。

南海トラフ地震災害を予測しての防災について、3月議会でも地域防災計画の被害想定はどうなっているのかお聞きしました。川南町災害時職員初動マニュアルを今年の3月に作成しています。また、川南町防災ハザードマップは令和5年に作っています。これと川南町地域防災計画をホームページにて公表しています。災害時の行動指針に基づいて、職員は図上訓練や担当課ごとにマニュアルに沿った勉強会、もしくは意思統一はされているのか、お尋ねします。

○総務課長（小嶋 哲也君） ただいまの御質問にお答えいたします。

職員の意思統一はということですが、職員の参集訓練等実施して意思の統一を図っていきたくて考えております。

先ほど言いましたように、10月6日に川南町総合防災訓練を計画しております。また、これまでの訓練としまして、3月9日に職員参集訓練を行っております。これは、訓練を実施することは職員に伝えてはいたのですが、日時等の予告は全くしておりませんでした。で、今回3月9日、休日の土曜日になるんですけども、日向灘を震源とした地震が発生したということ想定して、職員参集メールを発令しております。多くの職員が、休日にかかわらず参加をいただいて確認したところです。実際の参集状況を把握いたしました。

また、メールによる訓練にはなるんですけども、5月15日に職員参集システムの訓練を実施しております。こちら予告なしで、災害が発生したということでメールで発令しまして、それに対する回答を受けるという訓練になっております。対象職員が168名に対して、12時間以内に99%の職員、161名の回答を受けています。残り1%の職員に

についてはメールの設定の問題であり、現在、改修済みであります。このような訓練を通して職員の意思統一を、今後も図っていききたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 地域では避難訓練、家庭では非常時備えを心がけ、地域の連携が災害時の要ならば、職員同士の連携も行政の要ではないのでしょうか。今回3月8日、5月15日に実施したということで少し安心はいたしました、職員の安全が確保できて初めて町民に貢献できる災害対策の基本原則とし、安全への意識を徹底していますか伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 職員への安全意識の徹底についてということですが、議員のおっしゃるとおり、職員自身が安全を確保しないと災害対応はできないというふうに考えております。こちら、防災訓練等を通して浸透させていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 最近のマスコミ報道では、南海トラフ地震についての報道が毎日のように行われています。特別な注意の呼びかけはされていますか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 南海トラフ地震についての特別な呼びかけはされているかという御質問ですが、災害が発生した場合、被害状況、生活情報等の各種情報を、迅速に提供し、町民に適切な行動が取れるように、努めなければならないというふうに考えております。

今回も、南海トラフ地震臨時情報、巨大地震注意が発令されましたので、その間は、防災無線を活用して注意喚起を行ったところであります。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 8月8日の地震では川南町では大きな被害はありませんでしたが、お店から水や食料品がなくなり、都市部では米が消えました。これは町民の自助の意識が高まっていると思うんですが、川南町での備蓄品の備えは、先ほど言われましたけど、100名程度の3日分と言われましたが、これで大丈夫でしょうか。

○総務課長（小嶋 哲也君） 川南町での備蓄品の備えはということで、先ほど回答しましたように各地区100名の3日分というふうで備えている状況であります。これで大丈夫かどうかということは、災害の程度によって変わってくるとは思いますけども、備蓄品については、それぞれ家庭でも、していただくように広報等に努めたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 家庭での備えについて、今後どう啓発していきますか。1人で3日分といって水とか食べ物とか、自分に必要なものを用意したら結構重たいんですよね。私もしてみまして玄関に置いてみましたが、ぱっと持って出られるような状態じゃないんですよね。それが本当に1人で、自分のことを自分で守れるように持って

出られるっていうのをどのように町は啓発されていくのか伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） ただいまの御質問にお答えします。

各家庭での、どのように備蓄を啓発していくかということですが、この件に関しましては、これまで回覧板とかホームページで周知を行っているところです。あとは、各団体、また地区等に行って、防災講話の際に備蓄品の必要性等を説明して、各家庭に応じた家族の人数分、3日分の食料をお願いしているところでありますけども、それぞれの家庭によって状況は変わってくると思います。そういったところは、また各地区への防災講話の際に相談いただければと思いますし、いろんな状況において、アドバイスができればというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 上水道が使えなくなった場合の水の確保について、井戸水の活用として簡易浄水器の設置は考えていますか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） ただいまの御質問にお答えします。

井戸水を活用しての簡易浄水器の設置は考えていますかということですが、今現在では、井戸水を活用しての浄水器の設置というのは考えておりません。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） これは、やっぱり備えてほしいなと私は思います。それ以外の水の確保をするために企業との連携を図り、庁舎内の自動販売機を無料で使用できると聞いていますが、それ以外の場所はどこにありますか。また、無料で使えることを表示、啓発は行っているのか伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） ただいまの御質問にお答えします。

それ以外の水の確保はということですが、庁舎内にはコカ・コーラの自動販売機が、1階ロビーに災害時の対応自動販売機として設置されております。また、その横には備蓄水用のボックスが設置されていますので、災害時にはそれらを活用することになると思います。

また、農協果汁株式会社とは、災害時の飲用水の確保として協定を締結しているところであります。

庁舎外の自動販売機につきましては、その自動販売機を設置している管理者、事業者等が運用を行っておりますので、それぞれの判断で対応していただくということになると思いますので、町のほうで把握ということはしておりません。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 防災訓練の実施は考えているのかって聞こうと思ったんですけど、さっき10月にするということで、地域ごとの訓練の必要性を考えて、川南町全体での訓練ということをさっき聞きましたが、津波到達までの予測時間は、宮崎県防災ホームページでは15分から20分と想定されていますが、高齢者や障害者の訓練を想定して、今後訓練は行いますか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 防災訓練の実施ということで津波地区、沿岸地域、を中心とした訓練の実施はということですが、沿岸地域の合同の津波訓練は、令和5年度に実施しております。このときに短時間での初期避難や津波到達以前に安全域に避難することを重点的に目標として実施されておりました。このような訓練をしながら、また、高齢者、障害者等の、避難については個別避難計画を立てることになると思いますけれども、こういった訓練の実施が非常に重要であるというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 高齢者、障害者の避難弱者の個別避難計画は、3月議会でお尋ねした際は、今、制作中とのことでしたが、こちらはどこまで進んでいますか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 個別避難計画については福祉課を中心に計画策定をしております。現在、総務課と福祉課で情報を共有しながら計画を進めています。

まずは、津波被害が想定される通浜地区での計画策定を進め、順次、伊倉地区、松原地区など、津波被害想定地区の個別避難計画を進めていく方針でありますけれども、少しずつではありますけれども、現在、進んでいるところであります。実績としましては6名の方を対象に調査をいたしまして、計画作成が5名の方で済んでおります。1名の方については同意を得られなかったという状況であります。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 子供たちへの防災教育として、高齢者や障害者体験を行いながら防災訓練を行う計画などはありますか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 子供たちへの防災教育はということと、あと障害者、高齢者への体験を行いながら避難訓練はということでもありますけれども、子供たちへの防災教育は、先日、川南小学校に、対策監のほうが出向いて、子供たちに防災講和を行ったところです。今後も学校と連携をしながら、こういった講話を行っていきたいというふうに考えております。

高齢者、障害者の体験を行いながらの避難訓練はということですが、こちらについては現在のところ計画はありません。ただ、車椅子体験とか高齢者の疑似体験というのは、社会福祉協議会とか日赤奉仕団のほうで実施されているというふうに聞いております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 今回の台風10号で改善センターに避難してきた方は61人と聞きました。その1人当たりの広さはどれぐらいありましたか。

○総務課長（小嶋 哲也君） 今回の農村センターでの避難の広さということですが、国の示す避難所の収容人数は避難者1人当たり1.65平方メートルが基本となっております。本町の場合は、この基本を参考に感染症対策を考慮し、避難者1人当たり約3平方メートルを基準に算定しております。今回の避難でも十分な広さを確保していたと

いうふうに認識しております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 川南町の避難場所の収容人数は約2,000人ですが、1人当たりの広さは、今のこの3平方メートルというのが確保されているのでしょうか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 先ほどお答えしたとおり、1人当たり3平方メートルを基準に算定をしておりますので、確保しているということで御理解いただければと思います。

○議員（内藤 逸子議員） 今回の改善センターでは雨漏りがあったと聞きましたが、改修予定はありますか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 農村センターの雨漏りについてということで、確かに今回、雨漏りのほうを確認いたしました。今後の課題としまして、改修方法とかを検討しなければならないというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 今回の台風10号の避難に当たり、独り暮らしの高齢者が避難したくても避難できないと私のところに連絡がありました。タクシーをお願いしたくてもタクシーはなかった。布団や食料を持って歩いて避難ができない。防災無線で呼びかけがあっても、実際には避難困難者がいることも把握して防災無線にしてもらいたい、弱者に寄り添ってもらいたいという避難困難者対策を今後どのように考えて取り組むのか伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 避難困難者対策を今後どのように考えて取り組むのかということですが、先ほど述べましたとおり、避難困難者に対しては個別避難計画を作成して取り組むしかないかなというふうに考えております。

また、タクシーがなかったということでもありますけども、そうならないためにも、今回の避難に関しましては午後1時に避難所を開設しまして、2時には高齢者等避難指示を発令したところであります。防災無線を活用して早めに呼びかけをして、そういった対応をお願いしたところであります。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 9月5日に川南長寿会女性部研修大会があり、「今できることを学ぼう、自分の命を守る、そして家族を守る」と題して、宮崎県防災士ネットワーク川南から3名の防災士さんが来られ、8月8日の地震、津波、そして台風の体験を通して、南海トラフに備えるための具体的な防災講話を受けました。参加者の皆さんは熱心に聞いていました。南海トラフの場合、川南は13メートルの津波が20分で来ますなどでした。こんな機会を町内で地域ごとに計画できませんか、伺います。

○総務課長（小嶋 哲也君） 地域ごとに、そういった講話の機会をとということでよろしかったですかね。先ほど言いましたように、今回10月6日に防災訓練を行います。そ

ういった中で地域ごとにも取り組んでいただきますので、そういった中で防災士の方々の、力を発揮していただければというふうに思っておりますし、また、そういった機会の場の提供を今後考えていかないといけないというふうに思っております。

今回、南海トラフ地震臨時情報、巨大地震が発令されて、町民の防災意識は確実に高まっているというふうに思っております。この瞬間から、緊張感を持つ必要はないというふうに報道はされておりますけども、地震への備えを普段の生活に溶け込ませるように、防災活動、また防災意識の向上に、努めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 避難環境が助かった命を左右すると言われて、避難所生活で失われないう、その取組が大切です。避難所は耐え忍ぶ場所ではないこと、これからの生活に向けての元気を取り戻す場所として、どれだけ快適に過ごせるかにかかっています。避難所の在り方について行政の役割は大変大きく、万全を期すためにも様々な視点から取り組まなければいけません。川南町民が安心、安全に暮らし続けていくには平時の備えが大切です。町民の協力、地域の協力が一番ですが、やはり要は川南の行政機関の役割が町民目線で整えられ、町民の暮らし、安全に寄り添う町政を求めまして、次に移ります。

第2点目、川南原土地改良用水路の管理について伺います。

川南原土地改良用水路の管理には、草刈り、土砂の撤去などですが、管理者の高齢化が進み、参加できない場合はシルバー人材センターに依頼をしていましたが、シルバー人材センターも人手不足のため、作業する人がいない状況です。人が少ないため一人一人の負担も増え、刈った草の撤去にも時間がかかり、処分も火を使ったりするため、小規模にしか処分できない状況が続いています。土砂が水路にたまると、その撤去には重機が使えないため、手作業で行っておられました。こちらでも力仕事のため、簡単に作業できない状況がありますが、先ほど町長さんはいろいろ把握しておりますと言われましたけど、今後、対策をどのように取っていただけるのか伺います。

○町長（宮崎 吉敏君） この問題については、非常に当事者の方々の労苦を考えると、しっかりと対応していかないといけないかなという思いは持っております。このことについてはしっかりと担当課と協議の上、進めていければなと思っております。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） パイプライン化について、調査検討される予定はありますか、伺います。

○農地課長（新倉 好雄君） パイプライン化につきまして、事業化は取り組めないかという御質問でございますが、水田用水路のパイプライン化は、従来の用水路の施設管理労力や、配水管管理労力の節減や能率化に非常に効果があるものと理解しております。

一方では、用水のパイプライン化につきましては国営の大規模事業対象となり、多額の事業費の財源や、地理・地形的な課題や技術的課題も検証しないといけないと考えて

おります。また、応分の事業費受益者負担が発生するため、事業化することは水路を管理する土地改良区からの御要望や御意見を聞きながら慎重に協議していかないといけないと考えております。

以上でございます。

○議員（内藤 逸子議員） 土砂の取り除きは防災対策にもつながる重要な役割を果たしています。田んぼは川南町にとっても大切な宝です。川南町の農業や農家の将来を考えると、後継者がいる今こそ、今後の対策を取るべきではないでしょうか。町長、いかがですか、伺います。

○町長（宮崎 吉敏君） 現在、川南原土地改良区が管理、使用する水田用水の幹線水路につきましては、令和元年度から令和7年度まで、総事業費約21億円で川南原地区国営応急対策事業を実施中であります。この事業によりまして幹線水路のトンネルや水路橋の施設機能と耐震化の整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減化を図り、農業生産性の維持及び安定に資することができるものと考えています。

その他具体的な案件となりますと技術的に可能かなど、個別に検討する必要があると考えます。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） ただいま町長が答えられたように巨額なお金が必要だと思いますので、これは国に対しての要望というんですか、そんな活動も、ぜひしていただいて、将来、川南町の水田が守られるようにお願いして、次に移ります。

第3点、川南町の経済推進について伺います。

町長は、経済推進会議を設置し、若い人の意見を把握し、対策を打ちたいとのことですが、具体的な提案を伺います。

○町長（宮崎 吉敏君） 経済推進会議は、川南町の将来のあるべき姿、目標、目指すものなどを協議し、私たちの視点、考えとは違う斬新なアイデアを求めたいと思います。各グループ、各団体から、中堅を担っている方々を選出していただき、会議を構成したいと考えています。

また、それぞれが感じている問題点を共有することで、有効な手だてがないか判断してまいります。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 若者も働きやすく、この町で安心して暮らしていくための提案として受け止めて、前に進めていただきたいと思います。

ふるさと納税の現状を把握しておられますか。令和5年度は順調に伸びたとの決算報告です。全国では寄附金総額は1兆円を超え、24年度に控除の適用を受ける利用者は1,000万人を超えた。住民税の納税義務者は全国に約6,600万人いる。そのうち、約6人に1人がふるさと納税を利用している計算になります。

このままだと地方自治が崩れるかもしれない、現状の高所得者と低所得者の受益と負担のバランスを踏まえると、垂直的公平性という観点で訴訟になったら、ふるさと納税の根拠法となる地方税法は、法の下での平等を定めた憲法14条違反に問われるおそれがあるのではないかと、との考えがありますが、どう町長は考えますか。

○町長（宮崎 吉敏君） ふるさと納税については、川南町の事業者それぞれのキャパといえますか、ボリュームといえますか、過度な注文による適正な対応ができないことが生じることなく、しっかりと町も計画を立てて進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 大企業で急速に利用が広がっている企業版ふるさと納税については25年3月までの時限措置ですが、町長はどう考えますか。

○町長（宮崎 吉敏君） 企業版ふるさと納税は、川南町に関連した事業者等の思いで、川南町にふるさと納税として寄附を頂いております。この代償については、まだお答えできる状況ではありません。

ただ、いろんな事業所からそれぞれ頂いているということに対しては感謝申し上げたいと思います。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 今月を含め、あと4か月ありますが、川南町の新しい顔としてアピールを全力でやっていただきたい。町長、いかがですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 私がやるべきことというのは、川南町の様々なことをPRしていくことだと思っております。しっかりと力を注いでいきたいと思います。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 町内特産品送料無料助成事業の今後の実施についてどう考えているか、町長に伺います。

○町長（宮崎 吉敏君） 内藤議員の質問にお答えします。

今現在、町民、生産者、事業者に変な好評であると思っています。ただ、これも開始して年数がたっております。実際に費用対効果も含めて、また、直接事業者にとということも含めて、検討する時期に来ているんじゃないかなと思います。

以上です。

○議員（内藤 逸子議員） 次に移ります。第4点、学校トイレに生理用品の設置について伺います。

前回の答弁では今年度から予算化がされていますが、設置には、あとどれぐらい時間が必要なのか、具体的にお答えください。設置に向けて慎重に行う理由はどのようなことがあるのでしょうか。お金もついている、そして実証実験も済んだ。私が、この生理用品の質問を始めて、もう4年になります。近隣の市町村では既に設置しておられます。なぜ川南町は時間がかかるのでしょうか、伺います。

○教育課長（三好 益夫君） ただいまの御質問にお答えいたします。

これからどれぐらい時間がかかるかということですが、先ほども申し上げましたように、今後アンケートの実施を行って、あと、どのような問題があるかというところで、問題点の洗い出しをしていきたいというふうに考えております。

なぜ慎重に行うかということなんですけど、こちらのほうが学校教育の現場でということになりますので、そちらの現場の意見、それから教育的な観点から問題が生じていないかということもちょっと検証する必要があるというふうに考えており、慎重にやっていくところであります。

もう4年、生理用品の質問を始めて4年になるということなんですけど、教育委員会の生涯学習センター、それから図書館・文化ホール等につきましては、特に一般の方が使われているところなので、現状、生理用品の設置をさせていただいているところです。今後も議員のお考えありますように、そういうのが問題が全然ないというふうにクリアになりましたら、ぜひ学校現場のほうでも設置のほうをしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議員（内藤 逸子議員） 生理用品の話とは少し脱線してしましますが、男性トイレにもサニタリーボックスの設置が必要と世間では言われるようになっていきます。高齢化が進み、前立腺がん、膀胱がんなど、男性特有のがん患者数も増えてきています。性別を問わず、尿漏れで困っている人が増えています。トランスジェンダーで生理のある人など男女差ではもうはかれなくなった時代では。男性トイレ、女性トイレの差がなくなってくるのではないのでしょうか。男性トイレも個室が増え、座ってトイレをするのが当たり前になりつつある時代です。

学校のトイレだけでなく、ユニバーサルデザインの視点から、川南町の公共のトイレは進んでいると胸を張れるように努力、改善をすることを求めて、一般質問をこれで終わります。

（ 午前 11 時 44 分 終了 ）